

東京シンフォニエッタ

第57回 定期演奏会

—— 巨人 ピエール・ブレーズ

Pierre BOULEZ

~Un géant de la musique



© Universal Edition, Eric Maninitsch

...explosante-fixe...

Dérive 1

Dérive 2

TOKYO SINFONIETTA

2025.
7.10 [Thu]

19:00開演 (18:30開場)

東京文化会館 小ホール

全席自由 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000 (税込)

主催 一般社団法人東京シンフォニエッタ
助成 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
公益財団法人 NOMURA 野村財団
公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団
芸術文化振興基金

お問い合わせ・マネジメント
(株)AMATI 03-3560-3010
東京都港区赤坂1-14-5-S103
<https://www.amati-tokyo.com>



2025 ANNÉE
BOULEZ



音楽監督 板倉康明
フルート 斎藤和志 斎藤光晴
オーボエ 梅枝理恵 辻 功 渡辺康之
クラリネット 川越あさみ 佐藤和歌子 西澤春代
ファゴット 河府有紀 長 哲也
ホルン 有馬純晴 岸上 穰 中島大之 井上 華▲
トランペット 坂井俊博 高橋 敦
トロンボーン 西岡 基
チューバ 長澤照平▲
パーカッション 石崎陽子 松倉利之 和田光世
ピアノ 藤原亜美
ハープ 木村茉莉
ヴァイオリン 梅原真希子 海和伸子 山本千鶴 吉成とも子
ヴィオラ 百武由紀 吉田 篤
チェロ 宇田川元子 高麗正史 花崎 薫
コントラバス 那須野直裕 長谷川信久 吉田 秀
エレクトロニクス 有馬純寿 佐原 洸▲
団友 渡辺 功 守山ひかる
アシスタント 西山夏生
事務局 多田逸左久
▲=エキストラ奏者

今回の公演は「巨人 ピエール・ブレーズ」と題して全て彼の作品でプログラムを構成しました。ピエール・ブレーズ（1925-2016）は言うまでもなく音楽界にとどまらず現代芸術にとって大きな存在でした。私自身、恩師（Guy DEPLUS）が、ブレーズと共にドメヌ・ミュージカルを創設したメンバーだったので、その関係から知己を得ることができて親しく接することができました。またDEPLUSからは公的な書物とかには決して出てこない、ブレーズとその仲間の青年時代の非常に人間味溢れる逸話をたくさんお話しただいていたので、楽譜と音だけでしか知らなかった作曲家像に新たな視点が加わったことは貴重な経験でした。

東京シンフォニエッタにとっては2008年パリでブレザンス音楽祭に参加した時に今回演奏する「Dérive 1」を当時のブレーズとEICの拠点であったCité de la musiqueの大ホールで演奏したことは記念碑的演奏で素晴らしい思い出となっています。その演奏は<https://collectionsnumeriques-aude.mediatheques.fr/artiste/371270>でアーカイブとなっており聞くことができます。今年が生誕100年を記念して世界各地で様々な行事が行われていますが、私たちの公演もフランス文化省とCité de la musiqueが運営している委員会での一つとして認められて公式ページに情報が出ています。

<https://pierreboulez.org/>

また出版社のUniversal Editionにもご協力いただいでいて、いかに大切にされている存在かを再認識しました。今回のプログラミングは4月にEICが来日してブレーズ作品を演奏したので以前から重ならないように調整して決めたものです。

先日3月26日が誕生日でちょうどその時私はパリにいてその日を中心に素晴らしい演奏会が開かれてそこに身を置きながら改めてブレーズの功績を実感しました。今回の演奏会で私たちの「読み方」を皆様に聞いていただきたいと思います。

東京シンフォニエッタ音楽監督
板倉康明

2025年7月10日[木]
19:00開演(18:30開場)
東京文化会館 小ホール

全席自由(税込)
一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

◎チケット予約

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650

イープラス……………<https://eplus.jp> (PC・携帯)
チケットぴあ……………<https://t.pia.jp> (PC・携帯)
Pコード[294-322]

ローソンチケット…<https://l-tike.com/> (PC・携帯)
Lコード[35964]

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。
❶やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。❷いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。❸演奏中は入場できません。❹未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。❺全席指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。❻場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。❼ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。❽他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。



© 関目幸司

斎藤和志(フルート)

東京藝術大学卒。第5回神戸国際フルートコンクール第4位、第70回日本音楽コンクール第1位及び加藤賞、E・ナカミチ賞受賞。第4回びわ湖国際フルートコンクール第1位。これまでに、パウル・マイゼン、金昌国、佐久間由美子、中川昌日、中野富雄、三上明子、山崎成美の各氏に、またジャズ音楽を菊地康正、太田朱美、土井徳浩、池田篤の各氏に師事。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者。現代音楽の演奏にも力を注いでおり、現代音楽演奏グループ「東京シンフォニエッタ」では副代表を務め、国際的に高い評価を得ている。第68回日本音楽コンクールでは作曲部門本選における演奏に対し審査員特別賞を受賞。さらに近年、クラシック音楽のみならず、ジャズやその他さまざまなジャンルの音楽、映像、舞踊、美術などとのコラボレーション、また自身作曲・編曲も行い、即興演奏も含め、異常に幅広いレパートリーを持つ「フルート界の奇行師」。2006年度アリオン音楽財団奨励賞受賞。東京藝術大学、国立音楽大学、洗足音楽大学非常勤講師。レッシュ 4スタンス理論マスター級トレーナー。



斎藤光晴(フルート)

東京藝術大学卒業。東京ソリステン、アンサンブルコルディエにソリストとして出演。宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭、草津国際音楽アカデミー&フェスティバル、ラ・フォル・ジュルネなどの音楽祭に参加。2000年より現代音楽演奏グループ「東京シンフォニエッタ」のメンバーとして同時代の作品初演に多数携わる。これまでにフルートを西郷昌代、小泉剛、佐久間由美子の各氏に、室内楽を山本正治氏に師事。2012年～2016年、新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員。現在、東京シンフォニエッタ、トリトン晴れた海のオーケストラ、エロイカ木管五重奏団各メンバー。2022年より日本フィルハーモニー交響楽団フルート奏者。



有馬純寿(エレクトロニクス)

1965年生まれ。エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。これまでに数多くの演奏会で電子音響の演奏や音響技術を手がけ高い評価を得ている。2012年に国内外の現代音楽シーンで活躍する演奏家たちと現代音楽アンサンブル「東京現音計画」を結成、これまでに20回を超える演奏会を行ってきた。第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞芸術振興部門受賞のほか、東京シンフォニエッタ、東京現音計画のメンバーとしてなどで、サントリー芸術財団佐治敏三賞をこれまで複数回受賞している。国内外の実験的音楽家や即興演奏家とのセッションや、美術家とのコラボレーションも多い。現在、東京音楽大学准教授。



Guest 丁 仁愛(フルート)

ちょん いんえー◎東京生まれ。東京都立芸術高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。フルートを前川美穂、立川和男、堀井恵、高木綾子、小池郁江の各氏に、室内楽を斎藤和志氏に、フラウト・トラヴェルソを前田リリ子氏に師事。Henrik Wiese氏、Vincent Lucas氏のプライベートレッスンを受講。ソロ、室内楽、オーケストラで各地の演奏会に出演するほか、作曲や編曲、美術制作などの表現手法を通じ、芸術を多面的に追求している。現代奏造Tokyo団員。

